

European Association of Cardiovascular Imaging (EACVI) Heart Imagers of Tomorrow (HIT) ambassador for Japan としての、EuroEcho Imaging 2018 の参加報告書

2018年12月にイタリア国ミラノ市で開催されました EuroEcho Imaging 2018 に EACVI HIT ambassador for Japan (Echocardiography)として4回目の参加をしてきましたので、ここに報告させていただきます。今回の EuroEcho Imaging 2018 は425人の faculty を含む4400人が参加した心エコー関連の学会では、世界最大規模の学術集会でありました。ミラノ市という世界遺産の多い観光地で開催されたため日本からも多くの参加者が参加され、聞くところによると開催国イタリアに次ぐ第2位の参加者数とのことでしたが、残念ながら Opening セッションでは、このことは公表されませんでした。

EACVI は2018年度の会員数が14097人という巨大な学会組織となっていますが、その中でも特筆すべきなのは会員の46%が若手会員であるという点です。したがって、EuroEcho Imaging 2018 も若手の医師、ソノグラファーが数多く参加しており活気に溢れている学術集会となりました。その中で今年も中心的な役割としてプログラムにコミットしていたのが HIT でありました。全155プログラムの中の21プログラム(13.5%)が HIT 関連セッションであり、昨年とほぼ同様に①HIT hot topics session、②HIT poster session、③ HIT focus on session、④HIT workshop on TOE、⑤HIT how-to session、⑥HIT recommended session が展開されていました。詳細な内容は昨年度の報告書を参考にいただければと思います(参考資料1)。

HIT は本年の開催国の出身であるイタリアの Dr. Cameli が Chair の体制で3年目に入り、2020年まで幹部メンバーが継続されることが本学会で承認されました。より組織が強化的されていると一見思われましたが、内部事情を詮索すると EuroEcho Imaging 2018 の HIT プログラムの演者選定において不透明な部分があり、12月の開催直前まで長きにわたって conflict がありました。しかしながら、筆者が留学した米国の心エコー界には、権威の先生方は数多くいますが HIT のような次世代のための若手組織の存在は聞いたことがなく、将来の世界の心エコー界はこの HIT community が中心的な存在になっていくと予想されます。本年の報告書では、学術集会2日目に開催された HIT ambassador 会議の内容を中心にご報告させていただきます。

2018年度 HIT ambassador 会議

会議は EACVI の新 President の Dr. Edvardsen の挨拶から始まり(写真 1)、続いて Chair の Dr. Cameli から HIT の活動報告がありました(写真 2)。

その中で、次年度の HIT の活動目的は、①EuroEchoImaging の学術集会のみならず、年間を通して国境を越えてコラボレーションを行う。②HIT が主導の多施設共同国際試験の MASCOT (Multicentric Atrial Strain COmparison between Two different modalities) trial の enrollment を予定通りの期間で完遂させる (360 人が目標登録数であったが既に 947 人が登録済)。③Linkedin、Twitter、Facebook ソーシャルメディア (これらのメディアで HIT が運営している"Young network of Cardiovascular Imaging"には 15300 以上の参加者がおり、日々活発な議論を行っています) を引き続き活用させる、というものでした。

また、その他 HIT における 2016 年から 2018 年の業績として、HIT 参加加盟国の増加、欧州各国において teaching course が開催できたことも報告されました(公式発表の参加国、ambassador は参考資料 2 をご覧ください)。先に示した MASCOT study のみならず、EAPC (European Association of Preventive Cardiology) の young society と共同で新たな大動脈 2 尖弁の多施設共同国際試験である SPREAD study (Sport PRactice and its Effect on bicuspid Aortic valve Disease) の開始も「HIT Never Stop!」の号令とともに宣言されました。日本からの参加施設は未だありませんが、国際研究の参加は日本の若手でもそうハードルは高くないと考えます。日本のアピールのために来年度は私自身を含め参加を前向きに検討したいと考えています。

さらに新たな試みとして、一昨年の HIT ambassador 会議で決定された若手医師に対する来年の学会の年会費が発表されました。ご存知の方も多いと思われませんが、EACVI は ESC の傘下にある組織であり、本部はフランスのソフィア・アンティポリス市の同じ敷地内にあります。また事務局のスタッフも共通しており、全て ESC の社員であり数年で違う部署に移動していきます。わかりやすく言えば ESC という会社の中の一部門に EACVI がある感覚です。そのため今回の改定学会費も ESC (メイン) + EACVI (サブスペシャリティ) というように合算の費用となり、来年度の 40 歳以下の若手医師の費用が€75 と発表されました。費用だけでなく、昨年の報告書に記載した専門医のシステムやホームページ、学術集会の演題登録などを統合管理できる点も、非常に合理的と考えられました。

最後にトルコの Dr. Tok から HIT としての KSE (Korean Society of Echocardiography) 参加の報告がされました。以前から韓国は 11 月の KSE において HIT メンバー 2 名を毎年招待しています。HIT の中ではこれは「KSE journey」と呼ばれており、HIT と KSE とはとても親和性が高い印象です。過去 3 年間、東アジアからは小生だけの HIT

ambassador としての参加でありましたが、今回から韓国が加盟し ambassador としてソウル大学の Dr. Park が参加されていました。KSE journey の発表中、冷や汗を感じながら本邦の若手医師の存在をどのように韓国以上にアピールしていくか、今後の課題と考えました。会議は以上で終了し、その後、集合写真(写真 4、5)の撮影後に解散となりました。

おわりに

HIT ambassador for Japan (Echocardiography)の任を務めさせていただきました。HIT も初代 Chair の Dr. Grapsa の時代から ambassador のメンバーもさらに若い世代へ移行しています。また、本年は本邦から多くの若手の先生が faculty として参加され、日本の若手の存在感が EuroEchoImaging 内で徐々に向上していると思われました (写真 6-9)。

来年度以降はより多くの若手の先生に世界に羽ばたいていただきたく、ambassador (Echocardiography)の任を後任の若手の先生にお願いしたいと考えています。またさらに日本の存在感を世界に知らしめるために、Echo に劣らず本邦において優れた画像診断法である Cardiac CT・Cardiac MRI の HIT ambassador for Japan の創設や ESC の若手医師の集いである Cot (Cardiologists of Tomorrow)への参加も画策する必要があると考えられます。そのために引き続きこの 4 年間で構築した欧州とのネットワークを活かし、引き続き日本の若手の先生方のお役に立てればと考えております。

最後に本邦の HIT への参加に際してご推薦くださった前理事長の竹中克先生、4 年の間、温かいご支援をくださいました理事長の中谷敏先生と心エコー図学会の事務局の方に厚くお礼を申し上げます。

帝京大学医学部 内科学講座 循環器内科

EACVI Heart Imagers of Tomorrow ambassador for Japan (Echocardiography)

片岡 明久

参考資料

1. EuroEcho Imaging 2017 参加報告書: <http://www.jse.gr.jp/EACVI%202017%20HIT.pdf>
2. ESC HP、EACVI Heart Imagers of Tomorrow (HIT) Ambassadors:
<https://www.escardio.org/The-ESC/ESC-Young-Community/EACVI-HIT/EACVI-HIT-Ambassadors?fbclid=IwAR0L03tQFZZvv66adeqcBBV-Scng-cHfeNoGtwsRDq5o6ihDzAfmO4ZW0>

写真

1. Ambassador 会議の冒頭で挨拶をされる President の Dr. Edvardsen (写真中央)



2. プレゼンテーションを行う HIT chair の Dr. Cameli (写真左)



3. 会議中の筆者 (後列左端)



4. 会議後のスナップショットを流行のセルフィースタイルで



5. Ambassador 全員の集合写真



6. HIT セッションで発表される米国ウェストバージニア大学留学中の鍵山暢之先生



7. Rapid Fire Abstracts セッションの Chairperson として活躍される聖マリアンナ医科大学の出雲昌樹先生



8. Echo@Jeopardy の the rest of the world チームで参加され、見事大正解して商品を得られる徳島大学の楠瀬賢也先生



9. JSE: Young Investigator Awardee で発表される宮崎市群医師会病院の西野峻先生

